

石巻市長 亀山 紘 殿

## 女川原発二号機の再稼働に同意しないことを求める要請書

貴職におかれましては、日頃より市民参加を進め、市民福祉の向上のために尽力されておられることに対しまして厚く感謝申し上げます。また、新型コロナウイルス対策に懸命に取り組んでおられますことに心から敬意を表します。

さて、去る2月26日、原子力規制委員会は、女川原発二号機の設置変更申請を新規規制基準に適合しているとして「審査書」を決定しました。これから女川原発二号機再稼働について地元自治体の宮城県・石巻市・女川町の意見、同意が求められます。

しかし、私たちは、9年前の福島第一原発事故を忘れることはできません。東京電力は、IAEAや日本地震学会などの有識者の意見・勧告もあり、2008年に社内で15.7メートルの津波を試算したにもかかわらず、当時の経営陣は無視をしました。その結果、巨大地震と巨大津波によって原発施設は破壊され、原子炉メルトダウン・水素爆発を起こし、福島県をはじめ東北・関東地方などの住宅、工場、山林、農地、海にまで放射能汚染を広げ、原発周辺住民は、仕事を、家を奪われ、ふるさとを追われ、福島県のホームページによると現在でも約4万人の方々が、地域外・県外に移住をせざるを得ない状況となっています。原発周辺の農林業、漁業、地域産業は壊滅的打撃となりました。病弱な高齢者は、避難の途中でいのちを落とし、いまでも子どもたちの健康を蝕んでいます。原発事故から9年が過ぎましたが、事故の原因は究明されず、原子炉内の燃料デブリの処理、汚染水の処理、除染土・放射性廃棄物処理、未だ住民が安心して住めない高い放射線量の現状、廃炉作業の見通しも見えないなど解決されない問題が山積しています。

こうした歴史的重大過酷事故を起こしたにもかかわらず、国・東京電力は、誰も責任をとろうとしていません。私たちは、こうした国・電力会社の無責任姿勢を見ていますと、女川原発でも再び福島第一原発のような事故を起こしてしまうのではないかと大変危惧しています。

福島第一原発事故後、「原発の安全神話」が崩壊し、原子力規制委員会は、「重大事故の際には、地元住民の被曝はやむを得ない」と認め、国も「重大事故は起きるものだ」という前提で、原発30キロ圏内自治体に「避難計画」の作成を義務付けています。しかし、その避難計画は、国自ら責任をもって当たろうとはせず、地方自治体に丸投げしている始末です。従って、緊急避難時の住民への大量輸送体制（バス確保など）、道路交通体制、放射能汚染情報、病弱な方々への医療支援、避難先の受け入れ態勢の確保などその避難計画は、実効性を欠くものであることが多くの市民から指摘されています。本来原発周辺住民の皆さんが、安全に避難できることが原発再稼働の絶対条件のはずです。これでは、初めから原発周辺住民のいのちと暮らしをないがしろにするものだとと言われても仕方ありません。そもそも企業活動に対して避難計画を作成しなければならないような産業は、はたして必要なのでしょうか。

いま、世界のエネルギー政策は、原発から再生エネルギーへ大きく転換し、再生エネルギー分野は、猛烈な勢いで成長しています。いま、日本は、電力の自由化・発送電の分離政策に消極姿勢で再生エネルギー分野の成長を抑制するという「時代錯誤」の政策を進めたために再生エネルギー分野の産業の遅れが著しいものがあります。

日本の原子力産業は、高速増殖炉「もんじゅ」をはじめとした核燃サイクルを断念せざるを得ない状況に追い込まれています。また、使用済み核燃料のゴミも青森県六ヶ所村、各原発敷地内にもはや貯蔵しきれない状況となっています。そして、未だに最終処分場も決まっていません。まさに、日本の原子力産業の未来はないと言っても過言ではありません。

9年前の東日本大震災の中で、女川原発は、5本の電源のうち4本消失し1本だけ生き残り、また、満潮時と重ならず、幸運にも福島第一原発事故のようにならずに終わりました。しかし、ひょっとすると福島のような可能性が大きかったと言えます。そもそも原発は、巨大地震地帯や巨大津波地帯に立地してはならないのではないのでしょうか。

地域住民代表としての地方自治体は、地域住民のいのちと暮らしの安全を守ることが、第一の責務のはずです。そして、豊かな自然環境、地域住民の生活環境を守ることが重要な役割です。も

し、国の打ち出す政策が、地域住民のいのちと暮らしの安全を脅かすものであれば、毅然として国に異議を申し立てる必要があります。貴職におかれましては、こうした視点に立って女川原発再稼働に同意しないことを強く要請いたします。

[要請者]

原発いらない十三浜の会	代 表	佐藤 清吾
さようなら原発 in 石巻実行委員会	事務局長	近藤 武文
こどもの健康を考える会・いしのまき	共同代表	橋本 和良・齋藤みや子
石巻地方護憲平和センター	会 長	千葉 眞良
放射性廃棄物の焼却処分に反対する石巻地域の会	事務局長	日野 正美
放射性廃棄物の焼却処分を考える河南の会	共同代表	遠藤 卓・岡田 孝
いのちと郷土を守る市民の会	会 長	川村 昭光
女川原発の再稼働を許さない石巻地域の会	代表世話人	松浦健太郎
石巻九条の会	代表世話人	松浦健太郎
石巻地方労連	議 長	色川 健一
石巻民主商工会	会 長	菅原 正明
年金者組合石巻支部	支 部 長	高橋 昭義
河北農民運動連合会	会 長	及川英一郎
新日本婦人の会石巻支部	支 部 長	榎林由美子